

スマホのアプリ開発、3つのIT事業

連合審査会を招集 地方創生推進のIT事業を審査

9月定例会では、連合審査会を立ち上げ、町から上程された本年度一般会計補正予算案のうち、地方創生推進事業を集中的に審査しました。本来は、総務経済常任委員会で分割審査する案件ですが、「重要な内容で、全議員の関心が高い」として、社会文教常任委員会の議員も質問できる連合審査会を招集しました。同事業はIT関連の3プロジェクトで、「森のオフィス」に同居するベンチャー企業が事業主体となり町が助成（補助）するものです。採決は総務経済常任委員会で行いました。

ITプロジェクト3事業

- ◆**観光IT** 入笠山に咲く花をスマホで撮影すると花を識別し、解説文が視聴できるソフトを開発します。
- ◆**農業IT** キクを手はじめに花きや作物の時期に応じた生育状況、出荷予測を農家のスマホに発信するソフトを開発します。農家の経験と勘をマニュアル化します。
- ◆**健康増進IT** 健康度を管理するシステムで、セイコー・エプソン製のウェアラブル・ウォッチ「パルセンス」を手につけることで運動量や脈拍などを測定し、個人の健康度を管理します。努力の度合いも測定し、その度合いによって賞品等を提供することも検討します。

一般会計補正予算など15議案を可決

富士見町議会9月定例会は、9月1日から14日まで14日間の日程で開きました。町が提出した平成28年度一般会計補正予算など計15議案を審議。総務経済常任委員会が提出した修正案を可決したため、1議案を修正して全議案を可決しました。人事案件は2件に同意、適任としました。一般質問は4、5の両日行い、10議員が町側の考えをたえました。

本年度一般会計補正予算の主な歳出は、公会計システム導入委託として103万円余を盛りました。固定資産台帳の整備、本年度決算の財務諸表作成のため、電算（長野市）が開発を請け負います。町役場本庁舎の雨漏りの補修費は220万円余です。

カシスの特産化の栽培事業では、7月中旬の収穫で3割が未成熟となったため、ニュージーランドのリッチモン

ドから栽培の専門家を招き、直接指導を受けます。旅費などに30万円です。

消防費では、全分団員の防寒着360着、無線用ベスト2着の費用として470万円余。

商工費では、JRの駅「すずらんの里」のトイレを冬期間も使用できるように改修し、通年利用を実現します。56万円余を予算化しました。



試験栽培農園のカシス

庁舎内に防犯カメラ15台を設置へ 安全安心な窓口業務のために

役場本庁舎の各階に防犯カメラ15台を設置します。48万円余（5年リースの半年分の費用）を予算化しました。防犯カメラの設置は、近年、全国の行政機関窓口でのトラブルが増えているため、富士見町も例外ではありません。来庁者や職員の安全を確保すること

が目的です。安全安心な窓口業務に役立つことが期待されます。

ただ、防犯効果が期待できる一方で、多数の情報をリアルタイムに撮影し、記録するため、被撮影者のプライバシーなどの基本的人権に配慮する必要があります。